

第2章 列車走行時の騒音、振動、微気圧波

1. 調査目的

本調査は、成田新高速鉄道における環境影響評価書に基づく事後調査として、列車走行時の騒音・振動、トンネル微気圧波測定の現地調査を実施することを目的とした。

2. 調査内容

1) 調査地点

調査地点は、表 2-2-2 に示すとおりである。また、調査地点図を図 2-2-2 に示す。

調査位置は、騒音、振動は原則 12.5m、微気圧波はトンネル出入口の原則 20m 及び家屋点で設定した。地形条件により設置が困難な場合は、設置可能な範囲で設定した。

設置位置については、騒音、微気圧波は地上高さ 1.2m、振動は地盤上とした。

表 2-2-1 調査位置一覧表

		調査位置	設置位置
事後調査	騒音	12.5m	1.2m
	振動	12.5m	地盤上
	微気圧波	出入口 20m、家屋点	1.2m

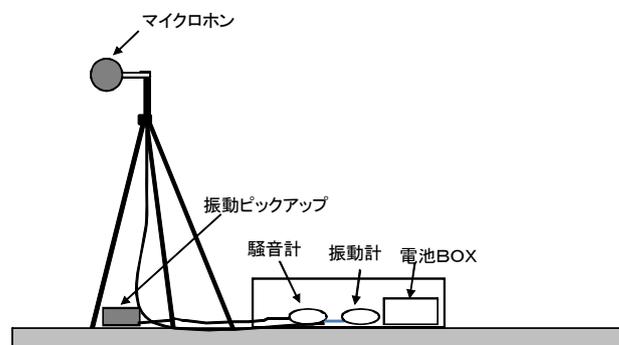


図 2-2-1 測定断面図